

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

No	事業名	事業概要（実施計画抜粋）				総事業費	臨時交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	実績	成果目標 (実施計画転記)	成果及び評価	担当課
		①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象											
1	雇用確保・維持推進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響下における町内事業者の人材確保と雇用維持を支援するため、事業に必要な資格取得や人材募集にかかる経費を補助するとともに、コロナ禍であっても町内に住所を有する者を正社員として新たに雇用了町内事業者に対し補助金を交付する。 ②町内事業者に対する補助金 ③町内事業者	1,877,975	1,800,000	R3.4.1	R4.3.24	補助金：1,877,975円 支給件数：38件 資格取得支援事業：95,225円（7件） 人材募集支援事業：1,382,750円（27件） 雇用確保支援事業：400,000円（4件）		事業に必要な資格取得、人材募集に係る経費を支援することで、雇用確保につながったとともに、新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内事業所の継続的な経営を支援することにつながった。	産業観光課			
2	コロナ対策伴走型支援事業	①コロナ禍で、事業展望に不安を感じている創業間もない事業者等に対し、専門家による特別相談業務を実施する。 ②特別相談業務委託に係る委託料 ③町内事業者	1,435,479	1,200,000	R3.4.21	R3.9.30	委託料：1,435,479円 (専門家派遣、発信業務、事業費) ※1,435,479円のうち一部(136,000円)は、新型コロナウイルス感染症対策地域振興臨時交付金(県)を活用		長引くコロナ禍の状況にあっても、創業や新事業に挑戦する方に対して伴走型の支援を実施することで、対象者の創業気運の醸成及び創業初期・新事業転換初期の総合的な知識習得につながった。	産業観光課			
3	中小企業販売力強化支援事業	①新型コロナウイルス感染症による消費の落ち込み等の影響を受けている町内事業者の販売力強化を支援するため、商品やサービスに関する販路拡大・販売促進等の取組を行う町内事業者に対し補助金を交付する。 ②町内事業者に対する補助金 ③町内事業者	3,711,253	3,000,000	R3.4.1	R4.3.24	補助金：3,711,253円 支給件数：61件 販路開拓事業：600,000円（6件） 販売促進事業：2,977,380円（51件） テイクアウト事業：133,873円（4件）		コロナ禍において、経営の厳しい状況にありながらも事業の維持をすべく、出展等で新たな販路開拓や新商品等の周知チラシを作成して販売促進をするなど、前向きに取り組む事業所を支援することにつながった。	産業観光課			
4	新事業チャレンジ応援事業	①新型コロナウイルス感染症の影響下においても新規創業する方や、新型コロナウイルス感染症拡大による本業の落ち込みに対して、新事業展開等で新たな取組にチャレンジする町内事業者を支援するため、補助金を交付する。 ②町内事業者に対する補助金 ③町内事業者	2,596,000	2,500,000	R3.4.27	R4.3.18	補助金：2,596,000円 支給件数：10件		コロナ禍において、町内で創業や新事業に挑戦する10人に対して、支援を実施したことで、町内における創業支援・雇用創出につながった。	産業観光課			
5	公共交通（バス・タクシー）利用促進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が大幅に減少している公共交通機関の利用促進を図るとともに、高齢者の外出を支援するため、町内の高齢者（65歳以上）に対し、バス・タクシー利用券を交付する。 ②利用券の交付に係る負担金及び事務費 ③町民（65歳以上）	16,945,636	15,767,000	R3.4.21	R4.1.31	負担金：14,257,100円 印刷製本費：750,442円 通信運搬費：1,938,094円		利用率は55.9%（バス12.1%、タクシー43.8%）であり、当初の見込みより約1割減であった。減少の要因としては、コロナ感染拡大第5波による外出自粛の影響と推測される。利用者からは、通院等での利用で助かっているという意見があった一方で日常において車移動であることから、利用券の必要がないとの意見も寄せられ、事業者からは、利用者の向上となったとの感謝の言葉が寄せられた。	くらし安全課			
6	生活困窮者への特別定額給付金事業	①生活困窮者を支援するため、静岡県社会福祉協議会の新型コロナウイルス特例貸付（総合支援資金）を受けた生活困窮者に対し、1人当たり50,000円の特別定額給付金を支給する。 ②特別定額給付金交付に係る交付金及び事務費 ③町民	1,803,360	1,500,000	R3.5.12	R3.9.10	通信運搬費：3,360円 交付金：1,800,000円（一律 50,000円） 支給件数：36件 ※1,803,360円のうち一部（207,000円）は、新型コロナウイルス感染症対策地域振興臨時交付金（県）を活用		新型コロナウイルス特例貸付けの総合支援資金貸付けを受けた交付対象者40人の内、36人から申請があり交付した。対象者の9割が申請し、新型コロナウイルス感染症の影響等を受けている生活困窮世帯の支援につながった。	福祉介護課			
7	オンライン訪問看護事業	①コロナ禍における高齢者の生活をサポートするため、看護師が月2回、自宅にあるビデオ通話装置を利用したオンライン訪問看護事業を実施する。 ②オンライン訪問看護事業の業務委託に係る委託料 ③町民	1,426,700	1,400,000	R3.10.14	R4.3.18	委託料：1,426,700円 訪問看護 612,000円 タブレット端末費用 685,000円（10台） 消費税 129,700円		実証実験参加者14人に対し、月2回・3か月のオンライン訪問看護を実施した。アンケートの結果、「日常生活動作を維持するのに役立った。」「心配事や悩みごとを相談できた」が100%、「今後も利用したい」が92.8%であり、コロナ禍における高齢者の生活支援につながった。	福祉介護課			
8	清水町ゆうすいポイント（新型コロナウイルス感染症対策）事業	①新型コロナウイルス感染症の影響を受けている町内事業者の支援と町民の消費喚起を促すため、期間を限定し、ゆうすいポイント（地域ポイント制度）付与率20倍キャンペーンを実施する。 ②ゆうすいポイント事業に係る委託料 ③町民・町内事業者	2,801,805	2,600,000	R3.5.17	R3.9.30	委託料：2,801,805円 ポイント原資 2,471,805円 事務費 330,000円 ※2,801,805円のうち一部（175,000円）は、新型コロナウイルス感染症対策地域振興臨時交付金（県）を活用		長引くコロナ禍において、ゆうすいポイントの付与率を期間限定で20倍にし、消費喚起を促した結果、地域経済の活性化が図られた。	産業観光課			

No	事業名	事業概要（実施計画抜粋）				総事業費	臨時交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	実績	成果目標 (実施計画転記)	成果及び評価	担当課
		①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象											
9	高等学校等修学支援特例 給付事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による高等学校等への修学に係る経済的負担の軽減を図るため、経済的支援が必要と認められる高校生等の保護者に対し、1人当たり50,000円の特例給付金を支給する。 ②就学援助費 ③町民	2,650,000	2,600,000	R3. 7. 19	R4. 3. 31	扶助費：2,650,000円（一律 50,000円） 支給件数：53件		高等学校に就学している生徒のいる世帯（53人）に生徒1人当たり50,000円を給付し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担を軽減した。	教育総務課			
10	小中学校就学援助費特例 給付事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯を新たに就学援助費の対象として拡充するとともに、小中学生がいる生活困窮世帯を支援するため、就学援助世帯を対象に、児童・生徒1人当たり50,000円（特別支援学級児童は25,000円）の特例給付金を支給する。 ②就学援助費 ③町民	8,540,147	8,000,000	R3. 10. 1	R4. 3. 28	扶助費：8,540,147円 小学校 家計急変世帯：0円（0人） 特例（要保護・準要保護）：4,250,000円（85人） 特例（特別支援）：750,000円（30人） 中学校 家計急変世帯：40,147円（1人） 特例（要保護・準要保護）：3,250,000円（65人） 特例（特別支援）：250,000円（10人）		就学援助費を受給した150人の児童生徒の保護者に特例給付金50,000円、特別支援教育就学奨励費を受給している40人の児童生徒の保護者に特例給付金25,000円を支給した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和3年度に家計が急変した世帯を準要保護と認定した1件に対し、就学援助費を支給したことで、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担の軽減を図った。	教育総務課			
11	避難所等感染拡大予防事業	①避難所における新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を強化するため、感染症拡大防止に対応した避難所用の災害備蓄等を購入する。 ②避難所用の災害備蓄等に係る消耗品費及び備品購入費 ③避難所	7,358,890	6,000,000	R3. 4. 9	R4. 2. 16	消耗品費 計 7,358,890円 パーテーション 3,795,000円（115台） 非常時簡易ベッド 2,152,590円（300台） キャンプ用テント 726,000円（50個） 手指消毒用アルコール除菌液 289,960円（20個） 消毒用次亜塩素酸ナトリウム 124,740円（6個） 携帯トイレ 198,000円（5個） マスク 72,600円（110箱） ※7,358,890円のうち一部（837,000円）は、地震・津波対策等減災交付金（県）を活用		災害発生時の避難所等における新型コロナウイルス感染症対策にかかる物品を購入することにより、より安全に避難所を運営することができるようになった。	くらし安全課			
12	図書館パワーアップ事業	①新しい生活様式を踏まえ、在宅で過ごす時間を楽しく有意義なものにできるよう、町立図書館の蔵書を整備する。 ②図書購入費 ③図書館	5,142,222	5,000,000	R3. 10. 1	R4. 1. 15	備品購入費：5,142,222円(2,246冊) 一般書 1,316冊 児童書 930冊		図書館パワーアップ事業で購入した書籍の特設コーナーを設置し、感染拡大防止のためのステイホームと読書を促す案内を行い、利用者からは好評であった。	社会教育課			
13	小規模事業者応援事業 (第5弾)	①新型コロナウイルス感染症拡大による、まん延防止等重点措置及び緊急事態措置の適用より影響を受けている小規模事業者の事業継続を支援するため、応援給付金を交付する。 ②小規模事業者に対する応援給付金 ③小規模事業者	26,000,000	24,726,000	R3. 10. 1	R4. 2. 18	交付金 26,000,000円(232件) 静岡県中小企業等応援金対象の事業者 法人 2,000,000円(100,000円×20件) 個人 1,550,000円(50,000円×31件) 静岡県中小企業等応援金対象外の事業者 法人 13,050,000円(150,000円×87件) 個人 9,400,000円(100,000円×94件)		長引くコロナ禍の影響を受け、売上が減少した町内事業所に対し、応援給付金を交付することで、継続的な経営の支援や雇用の受け皿を維持することにつながった。	産業観光課			
14	清水町新型コロナウイルス感染症対策貸付資金利子補給基金（追加）	①静岡県経済変動対策貸付資金の融資を受けた中小企業者に対する利子補給事業の財源確保を目的として令和2年度に創設した基金に積み増しを行う。 ②基金 ③中小企業者	1,300,000	1,300,000	R4. 3. 25	R4. 3. 31	積立金 1,300,000円 令和2年度に創設した基金への積み増し	令和6年3月31日までに 残額0円	令和2年度からコロナ禍において資金繰りに苦しむ町内事業者に対し、支払利子に対する支援を実施しており、令和3年度においても継続して実施するために基金への積立を実施した。基金の積立により、資金繰りに困っている事業者への支援を継続するための財源確保ができた。	産業観光課			

No	事業名	事業概要（実施計画抜粋）				実績	成果目標 (実施計画転記)	成果及び評価	担当課	
		①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	総事業費	臨時交付金 充当額	事業開始 年月日					事業完了 年月日
15	高等学校等修学支援特例 給付事業	①新型コロナウイルス感染症の影響による高等学校等への修学に係る経済的負担の軽減を図るため、経済的支援が必要と認められる高校生等の保護者に対し、1人当たり50,000円の特例給付金を支給する。 ②就学援助費 ③町民	2,750,000	2,000,000	R4.3.15	R5.3.31	扶助費：2,750,000円（一律 50,000円） 支給件数：55件	2,500,000円（50件）の支給による生活困窮世帯に対する支援	高等学校に就学している生徒のいる世帯（55人）に生徒1人当たり50,000円の総額2,750,000円を給付し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担を軽減した。	教育総務課
16	小中学校就学援助費特例 給付事業	①新型コロナウイルス感染症の影響により家計が急変した世帯を新たに就学援助費の対象として拡充するとともに、小中学生がいる生活困窮世帯を支援するため、就学援助世帯を対象に、児童・生徒1人当たり50,000円（特別支援学級児童は25,000円）の特例給付金を支給する。 ②就学援助費 ③町民	9,425,000	7,000,000	R4.3.8	R5.3.31	扶助費：9,425,000円 小学校 要保護・準要保護：5,150,000円（103人） 特別支援：750,000円（30人） 中学校 要保護・準要保護：3,250,000円（65人） 特別支援：275,000円（11人）	総額9,000千円支給による生活困窮世帯に対する支援	就学援助費を受給した168人の児童生徒の保護者に特例給付金50,000円、特別支援教育就学奨励費を受給している41人の児童生徒の保護者に特例給付金25,000円の総額9,425,000円を支給し、新型コロナウイルス感染症の影響による経済的負担の軽減を図った。	教育総務課
17	図書館パワーアップ事業	①新しい生活様式を踏まえ、在宅で過ごす時間を楽しく有意義なものにできるよう、町立図書館の蔵書を整備する。 ②図書購入費 ③図書館	4,954,404	4,000,000	R4.2.10	R5.2.15	備品購入費：4,954,404円（2,257冊） 一般書 1,359冊 児童書 898冊	2,000冊の図書購入による在宅時間の充実	目標数を上回る2,257冊の蔵書を購入したことにより、蔵書数及び貸出冊数が増加し、有意義なステイホームを促すことにつながった。	社会教育課
18	公共施設における新型コロナ 感染症拡大防止対策 事業	①新型コロナウイルス感染症の拡大防止を図るため、町内公共施設に衛生用品や感染症対策備品を整備する。 ②感染症対策備品等購入費 ③公共施設	1,270,819	1,170,000	R4.2.15	R4.8.30	保健センター 備品購入費：199,980円 空気清浄機（3台） 体育施設 消耗品費：70,576円（手指消毒液アルボナース） 備品購入費：613,800円 オートディスペンサー（4台） 空気清浄機（6台） 換気用大型扇風機（6台） 二酸化炭素濃度計測器（2台） 図書館 消耗品費：207,801円 足踏み式消毒スタンド（1台） 消毒液アルボナース アルボナース石鹼液 飛沫防止パーテーション（24台） フェイスシールド10個入り（5セット） アクリルパーテーション（2台） 地域交流センター 消耗品費：178,662円 消毒液アルボナース 飛沫防止パーテーション（40台） ポリカパネル1200mm（1台） ポリカパネル600mm（3台）	備品等の購入による感染症対策の実施	空気清浄機など感染症対策用品の使用により、利用者に安心して利用できる環境を保持できたとともに、感染予防に効果的な取組が実施できた。また、感染対策を十分にとり、コロナ禍前と変わらぬサービスの質を保つ事ができた。	健幸づくり課 社会教育課
19	プレミアム商品券発行事業	①新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、停滞している地域経済の活性化を図るため、町民にプレミアム付き商品券（5,000円で7,500円分の商品券の購入が可能（プレミアム率50%））を発行する。 ②業務委託費等 ③事業者・町民	41,522,891	38,500,000	R4.2.10	R4.9.20	印刷製本費：179,107円 通信運搬費：1,040,001円 委託料：40,303,783円 プレミアム相当額 35,562,166円 事務費 4,741,617円 ※参加店舗数：115店舗 ※商品券利用可能期間：4月11日～7月31日	14,000冊（プレミアム総額35,000,000円）の商品券活用による事業者支援及び消費喚起	発行冊数14,300冊に対し、14,267冊の購入（購入率：99.8%）及び約14,225冊分の換金（利用率：99.7%）があり、プレミアム総額35,562,166円の商品券活用による地域経済の活性化につながった。また、参加店舗アンケートでは、新規顧客の獲得につながったと回答した事業者が34%、前年比で客単価が増加したと回答した事業者が33%であり、事業者支援につながった。	産業観光課